

事業報告書

1. 事業の状況

(1) 概況

当財団は、「医薬品の開発をはじめとする生命科学に関する諸分野の研究を奨励し、もって国民の健康と福祉の向上に寄与する」ことを目的として昭和60年2月19日に厚生大臣の認可を受けて設立し、平成22年1月19日に内閣総理大臣の認定を受けて同2月1日公益財団法人に移行した。

平成29年度は、基本財産として保有する大正製薬ホールディングス株式会社株式の配当金の増収を活用し、わが国の企業をベースとする財団としては最大規模の事業を行った。

(イ) 研究助成、海外留学助成を引続き高水準で実施した。

(ロ) 研究業績褒賞を行った。

(ハ) 当財団主催の第12回国際シンポジウムを開催した。

(ニ) 第10回特定研究助成を開始した。

(ホ) 定例刊行物である「研究報告集Vol.31 2017」、「一年のあゆみ平成28年度版」および「平成29年度上原賞受賞講演録」を作成した。

(2) 各種助成金

平成29年3月10日開催の理事会で決定した事業計画に基づいて、同年5月24日開催の理事会で「交付対象者選出に必要な事項」を決定し、6月9日より募集を行った。

応募申請は、9月5日に締切り、各選考委員が書面審査の上、11月15日及び11月27日に選考委員会を開催して選考を行った。

この選考結果を12月14日開催の理事会・評議員会で検討して、交付対象者ならびに交付金額を決定し、直ちに応募者に通知した。

採択者に対する助成金の支払いを、平成30年1月より開始した。

(イ) 第10回特定研究助成金

特定研究テーマ検討委員会の答申を受け、平成29年度事業計画に「脳-抹消連関による生体恒常性の維持とその破綻」を助成対象とすることが盛り込まれた。公募の結果、108名の応募があり、20名に初年度の平成29年度分の助成金を交付した。

(1件当たりの助成金)

	平成29年度	30年度	31年度	助成金合計
特定研究助成A 助成件数5件	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 15,000
同 B 助成件数15件	〃 3,000	〃 3,000	〃 3,000	〃 9,000

(ロ) 研究助成金 (1件5,000千円)

100件の助成を決定した。

(ハ) 研究推進特別奨励金 (1件4,000千円)

10件の助成を決定した。

(ニ) 研究奨励金 (若手研究者対象1件2,000千円)

110件の助成を決定した。

(ホ) 海外留学助成金

本年度も、リサーチフェローシップとポストドクトラルフェローシップの2種目とし、合わせて138件採択した。その内8件を2年間助成とした。

(ヘ) 来日研究生助成金

10件の助成を決定した。

(ト) 国際シンポジウム開催助成金 (1件1,000千円以内)

わが国で開催される国際研究集会に28件の助成を決定した。

(3) 研究業績褒賞 (上原賞)

生命科学に関する研究で顕著な功績をあげ、引続き活躍中の研究者を主要学会、当財団役員・評議員・諮問委員および既上原賞受賞者に推薦をお願いした。20件の候補者のなかから2回の選考委員会での厳正、慎重な討議の結果、名古屋大学大学院理学研究科名誉教授の松本邦弘氏、理化学研究所脳科学総合研究センター副センター長の宮脇敦史氏を受賞者に決定した。

(4) 研究会の開催とシンポジウムの準備

第9回特定研究助成の研究成果の発表を兼ね、次の通り開催した。

・テーマ (名称)

和文名：第12回上原国際シンポジウム

「生体を見る・操る新技術の開発」

英文名：The 12th Uehara International Symposium 2017

「Make Life Visible」

- ・ 会議日程

平成29年6月12日～14日

- ・ 会場

ハイアットリージェンシー東京

- ・ 組織委員

名誉委員長 中西重忠（京都大学名誉教授）

委員長 戸山芳昭（慶應義塾大学 名誉教授・常任理事）

副委員長 宮脇敦史（理化学研究所脳科学総合研究センターディレクター）

中村雅也（慶應義塾大学医学部教授）

陣崎雅弘（慶應義塾大学医学部教授）

委員 船曳和雄（先端医療センター研究所上席研究員）

浦野泰照（東京大学大学院薬学系研究科教授）

藤林康久（放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター）

- ・ 講演者 32名（国内21名、海外11名）

- ・ 参加者 約310名

（6） 刊行物の発行

（イ） 平成27年度の研究助成金および同奨励金受領者等よりweb入稿された研究経過報告書を取りまとめ、「上原記念生命科学財団研究報告集Vol. 31 2017」を刊行した。

（ロ） 当財団の年報「平成28年度上原記念生命科学財団一年のあゆみ」を作成した。

（ハ） 「平成29年度上原賞受賞講演録」を作成し、贈呈式出席者に配付した。

（7） その他

海外で開催される国際研究集会に対する助成に関しては、今年度は該当案件がなかった。

助 成 金 の 内 訳

＜ 贈 呈 決 定 額 ＞

(金額単位：千円)

	助成金の名称	助成の対象者	1件当たりの助成金額	応募件数	助成件数	総助成額
定款第5条第1号 研究助成	第10回特定研究助成金	「脳-末梢連関による生体恒常性の維持とその破綻」を行う研究者	(A) 15,000千円 (B) 9,000		5 15	} 210,000千円 〔本年度〕 70,000
	研究助成金	単独・共同研究等 いずれでも可、年齢不問	5,000	400	100	
	研究推進特別奨励金	平成27年4月以降に独立した研究室又はチームを立ち上げた教授(昭和47年4月1日以降出生の者)	4,000	15	10	40,000
	研究奨励金	昭和55年4月1日以降出生の者、但し6年制学部出身者は昭和53年4月1日以降出生の者	2,000	266	110	220,000
同条第3号 派遣及び 招聘の助成	海外留学助成金 リサーチフェローシップ	年齢基準等研究奨励金と同じ	4,500以内	268	86	343,000
	ポストドクトラル フェローシップ	昭和59年4月1日以降出生の者、但し6年制学部出身者は昭和57年4月1日以降出生の者で博士号取得直後の年収250万円以下の者	同上	133	52	210,300
	来日研究生助成金	わが国の大学院博士課程に入学するために来日する研究者	奨学金月額 150	11	10	34,200 (支払は一部来期以降)
同条第4号 シンポジウムの助成	国際シンポジウム 開催助成金	わが国で開催される 国際研究集会	1,000以内	30	28	27,500

褒 賞 の 内 訳

	褒賞の名称	褒賞の対象	1件当たりの褒賞	被推薦件数	褒賞件数	副賞の総額
定款第5条第2号 研究業績褒賞	上原賞	顕著な功績をあげ活躍中の研究者	正賞 金牌 副賞 30,000千円	20	2	60,000千円